



平成 26 年 5 月 13 日

各 位

上 場 会 社 名 東都水産株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 関本 吉成
 (コード番号 8038、東証第 1 部)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 江原 恒
 (TEL 03-3541-5468)

通期業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 7 日に公表しました平成 26 年 3 月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 26 年 3 月期の 1 株当たり配当予想につきましても、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と実績の差異(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 120,000 | 1,000 | 1,250 | 900 | 22.61 |
| 今回実績 (B) | 125,416 | 1,457 | 1,644 | 1,267 | 31.84 |
| 増減額 (B-A) | 5,416 | 457 | 394 | 367 | |
| 増減率 (%) | 4.5 | 45.7 | 31.5 | 40.8 | |
| (ご参考)前期実績 (平成25年3月期) | 123,802 | 115 | 201 | 147 | 3.70 |

差異の理由

主力の水産物卸売事業における売上高は、予想をわずかに上回るに留まりましたが、冷蔵倉庫及びその関連事業における売上高が好調で、前回発表予想を上回りました。利益面では、たな卸資産の評価損減少による売上総利益率の向上や債権管理の充実による貸倒引当金の減額効果が予想を上回り、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回発表予想を上回ることとなりました。

●配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------------------------|----------|----------|----------|------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前 回 予 想 (平成 25 年 5 月 13 日発表) | — | — | — | 3.00 | 3.00 |
| 今 回 修 正 予 想 | — | — | — | 4.00 | 4.00 |
| 当 期 実 績 | — | — | — | | |
| 前 期 実 績 (平成 25 年 3 月期) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最も重要な課題の一つと認識し、業績に対応した配当を行うことを基本とし、かつ経営基盤の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、安定配当に努めております。

当期の期末配当予想につきましても、当初 1 株当たり 3 円 0 0 銭としておりましたが、計画を達成しましたことなどを勘案し、1 円増配の 4 円 0 0 銭に修正することといたしました。

以 上